



もりしげ 重則 議員レポート 27

コロナ渦により、予断を許さない状況が続いております。市民の皆様のご生活を支えられるよう、より一層支援を強化し、お困りの際には、ご相談頂ける相談体制の拡充を市政に反映させて参ります。今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。

プロフィール 1973年(昭和48年)生まれ
 1996年 帝京大学 法学部法律学科 卒業
 1996年~2014年 製造業にて営業、調達、品質、損益、人事、管理職まで経験する。
 2015年2月 初当選守山市議会議員
 同年 10月2期目 当選

2019年10月3期目当選 守山市議会議員
 認定NPO法人四つ葉のクローバー 副理事長
 児童養護施設 守山学園後援会副会長、伊勢遺跡保存会会員
 認定NPO法人びわこ豊穰の郷会員、守山市赤十字奉仕団団員
 守山学区福祉協力員、緑のもりやまを創る会理事

他者への「共感」を持ち、社会課題を解決することが、経済発展につながるという「新たな共通価値」を見出していくという考えの下、質問・政策提案をしました。

Q 生活支援について 生活困窮者支援と事業所の人出不足の解消という両方の課題解決になる仕組みについて

A より一層、生活困窮者にあった就労先を山水会や商工会議所等を通じ様々な企業に働きかけを行う。

Q 子ども達の教育と相談体制の構築について

A 小中学校で整備した一人1台の端末を活用し、いつでも相談できる仕組みづくりの検討を進め、対面での相談につなげる。

Q 給付型奨学金と奨学金の返還支援制度について

奨学金の給付と現在返還している若者たちを支援し、子育て世代の教育費の負担軽減、そして地域活動、市内の中小企業、農水産業、社会福祉事業所等へ就労を促す仕組みが必要であると考えますが伺います。

A 子どもたちの将来を見据え、育英奨学基金残高と毎年見込む寄附額の範囲を財源とする中で、運用可能な支援制度について、早々に、具体的な制度設計を進めて参ります。

Q 高齢者施設における介護人材不足の支援強化について

A 介護施設への就労斡旋については、資格等を必要としない職員募集があることも含め、生活支援課と連携し、情報提供を行い取り組む

厚生労働省と警察庁は、**2020年全国自殺者数**が前年より3.7%(750人)増の2万919人と発表。前年を上回るのは、リーマン・ショック直後の2009年以来、11年ぶり。特に**女性と小中高生が増加**。



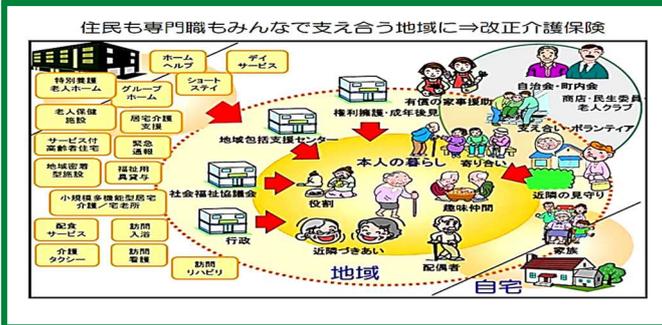
奨学金の他市参考事例

2019年3月卒業予定の学生さんへ

奨学金の返還を
54万円まで

北九州市が支援します!

※就職2年目~4年目に年給18万円を3年間



Q 産業活性化の取組について

小売、飲食、観光業界全体で集客できる IT ネットワークのデジタル支援策が必要だと考えるが。

A ECモールへの出店、SNSによる情報発信や各種ポータルサイトを活用した事業を展開頂けますよう取り組む。

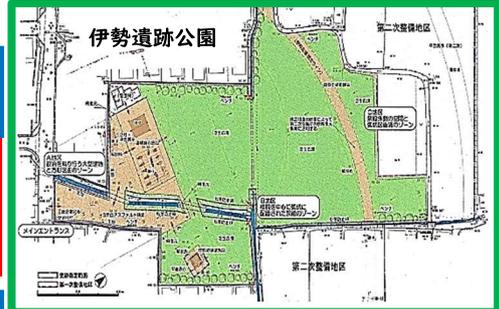


Q ホタルの保護について



A 目田川の隣接区域で開発が行われる際には、ホタルと共存できるように、地元自治会や認定 NPO 法人びわこ豊穰の郷様のご意見にしっかりと取り組む。

Q 伊勢遺跡整備事業について



A 近隣住民の皆様へのプライバシーに十分配慮した施設整備を行い、地元のご意見を十分お聴きし、施設整備を進める。

Q 職員育成について

「守山市人半行政の選考等の公表に関する条例」による公表データ（参照）より

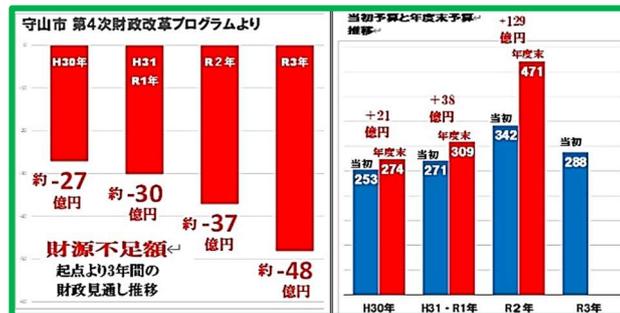
○職員の退職の状況 職員退職者 過去5年128名

退職事由	令和2年度 (見込み)	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
定年退職	6人	8人	6人	10人	9人
応募認定退職	-	-	-	-	-
普通退職	11名	17人	18人	14人	20人
任期満了退職	3人	-	-	1人	1人
死亡退職	-	-	-	1人	-
懲戒免職	-	-	-	1人	1人
分限免職	-	1人	-	-	-
計	20人	26人	24人	27人	31人

5年間で128名が退職され、その内、普通退職80名であり、定年退職39名の約2倍の退職状況であるが、どのように職員が長く勤められるようにするのか

A 職員が自分の力を存分に発揮することにより働きがいを感じることができる職場づくりに取り組む。

Q 財政規律の堅持について 当初予算から年度末にかけての補正予算が増えております。また市債が増え、基金が減るといった状態が続いています。このままですと市民ニーズが高い事業や必要な支援に予算配分できない状況を招く恐れがあり、財政規律の堅持が必要であると考えますが。



A 改めて今後10年間の歳出と歳入それぞれの推計を行い、新たに投資的経費の総額や市債の発行上限額、基金残高などの目標値を定め、将来を見据えて財政負担の平準化を図り、安定した財政基盤の確立に向け取り組んで参りたいと考えております。



発行元：森重と未来をつくる会
〒524-0035 守山市阿村町 228-6

・TEL&FAX：077-596-5281
・E-MAIL：morishige1230@msn.com



facebook



モリシゲ

